

お礼の気持ちを伝えよう1 (62〜65ページ)

お礼の手紙の書き方を知り、形式を守って試写することができる。

「お礼の気持ちを伝えよう」の学習は、次のような計画で進めます。

5	4	3	2	1	
草野先生に、お礼の手紙を書く③。 ●清書を書く。↓学校が再開したら書きます。	草野先生に、お礼の手紙を書く②。 ●下書きを書く。	草野先生に、お礼の手紙を書く①。 ●本文の内容を考える。	お礼の手紙の書き方を守って視写する。(うつしまる)	お礼の手紙の書き方を知る。	学習内容(かだいとつながっています)

163ページ。お礼の手紙は、四つのまとまりでできています。では、

お礼の手紙の四つのまとまりと、そこにどのようなことを書くのかを説明してください。書き方は、「はじめに、ゝ。つぎに、ゝ。つぎに、ゝさい後に。」とします。（さい初のまとまりは、書いておきます。←）

お礼の手紙の四つのまとめについて、説明します。

はじめに、「初めのあいさつ」書きます。ここには、季節

に関する言葉や、相手の様子をたずねる言葉、自分のしょう

かきを書きます。

次に、「本文」を書きます。ここには、相手に伝えたいことを書きます。

次に、「むすびのあいさつ」を書きます。ここには、別れのあいさつや、相手を気づかう言葉を書きます。

最後に、「後づけ」を書きます。ここには、日づけや自分の名前、相手の名前を書きます。

2 うつしまるのトレーニング8に、「お礼の手紙の書き方」があります。手本を見ながら、書き方の約束を守って、ていねいに視写してください。

3 今回の学習で、①うまくいったこと ②もつとできたこと ③つぎはこうしたい ④そのほかのポイントでふりかえってください。

(四つのポイントの中で、今自分が書きやすいものを書けばよいです。いくつ書いてもよいです。)
